

わが校のストップいじめアクションプラン

～いじめの未然防止、早期発見・早期対応～

甲賀市立甲南第二小学校

めざす子ども

いじめをしない、させない、見逃さない子どもの育成

子どものアクション

○いじめのない明るく楽しい学級・学校づくりを進める。

- ・「互いに高め合う集団づくり」のテーマのもと各学級で仲間を大切にする取組を進める。(よいところ見つけ、気になる木、感謝カード等)
- ・各学級の具体的な取組を進め、その成果等を12月の「笑顔やさしさ集会」で発表し合う。

○児童会によるいじめのない学校づくりに取り組む。

- ・「笑顔やさしさ集会」で運営委員の児童や各学級の発表を通して、仲間のよさに気づいたり、考えたりする。
- ・あいさつ運動を通して、気持ちのよい学校、仲間の声が響きあう学校づくりをめざす。
- ・標語やポスター作りをする。
- ・そまっ子集会(児童集会)で各学級の目指すことを伝え合い、**お互いを認め合う**機運を養う。

家庭や地域と連携したアクション

- ・保護者・地域とのネットワークを大切にし、児童の情報を共有化していく。
- ・PTA総会や学区民会議の場で、プランを配布し協力、連携を行う。
- ・「いじめを許さない、見逃さない。」に関するPTA研修会を行う。
- ・保護者アンケートを通して、児童の実態把握に努めると共に啓発を行う。
- ・学校評議員会等で「いじめを許さない、見逃さない」取組についての協議をする。
- ・地区別懇談会でいじめに関するテーマを設定し話し合う。

教職員のアクション

○「いじめを絶対に許さない」居心地のよい学校づくりに向けての共通理解・共通実践を進める。

- ・「いじめは絶対に許さない、いじめられている子を守り通す」という全職員の強い意思表示のもと、児童の指導にあたる。
- ・いじめ問題や児童の見取り等の職員の実践力を高めるための研修会を持つ。(学期に1回)
- ・全職員が全児童の様子について、気づいたことや感じたことをいつでも話し合える職員集団にする。
- ・いじめ防止対策委員会(兼:子どもの生活向上委員会)を定期的を開催する。

○児童のSOSを見逃さない(早期発見)

- ・学期3回の教育相談週間を通して、児童の悩みや日常生活の様子から心の見取りをおこなう。都度の相談を心がける。
- ・「ふれあいタイム」等、休み時間に児童と積極的にふれあい、信頼関係を築く。
- ・「今週のチャンピオン」や「感謝カード」等のよいところ見つけの取組を通して、集団の様子を観察する。
- ・児童のアンケートを通して、児童の生活や様子を見取っていく。
- ・朝の健康観察を重視し、児童の変化を見逃さない。(いじめを感じたら、すぐに声かけと報告)
- ・職員会議には、各学年の様子を伝え合い、職員での共通理解を図る。

○いじめにつながる児童の様子を発見したときの取組(組織対応)

- ・すぐにケース会議を持ち、学校全体で役割を分担し、組織的に取り組む。

現状と課題

- ・小規模校の特性から、固定化された人間関係の中で、「それは、おかしい」等の気づきがあっても声に出せない児童がいる。
- ・いじめに繋がる言動への「気づき」や「判断力」が弱い児童がみられる。
- ・**教職員の感性を磨くとともに子どもの見取りの情報の共有化を密に図る必要がある。(最重要)**
- ・家庭環境やその背景からのストレスが学校で出ている児童が多くみられる。
- ・地域・保護者との連携が希薄な家庭が増えてきているので、強化する必要がある。

